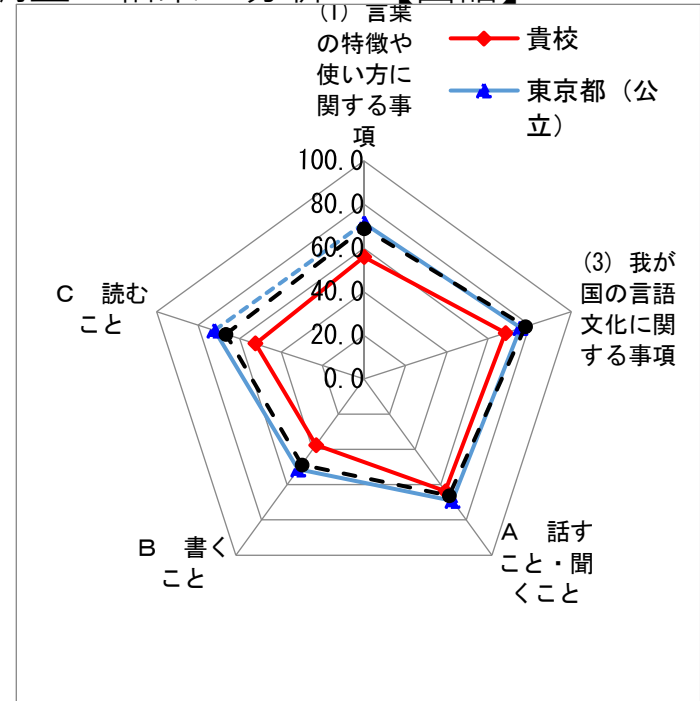


令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果の分析 【国語】

分類	区分	平均正答率(%)			
		貴校	東京都	全国	
全体		54	69	65.6	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	55.9	71.4	69.0
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	68.2	75.5	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	63.6	69.1	66.2
		B 書くこと	37.5	51.3	48.5
		C 読むこと	52.3	72.1	66.6
評価の観点	知識・技能	58.0	72.0	70.5	
	思考・判断・表現	51.4	66.2	62.0	
問題形式	選択式	66.8	75.3	71.8	
	短答式	40.9	65.7	63.6	
	記述式	34.1	53.9	51.3	



【考察】

○全体として、全国平均から11.6ポイント下回っている。評価の観点別にみると、「知識及び技能」では全国平均から12.5ポイント、「思考・判断・表現」では10.6ポイント下回っている。今後も言葉の特徴や使い方に関する事項について基礎基本を固めながら、思考力・判断力・表現力を伸ばしていく必要がある。

○思考力・判断力・表現力において、全国平均から特に下回っているのが、「読むこと」である。国語や読書科の授業の中で、読むことを通して読解力を伸ばし、自分の考えをもつことができるように指導していく必要がある。

○問題形式では、全国平均との差が、選択式では5ポイントだが、短答式22.7ポイント、記述式17.1ポイントと、差が大きくなっている。日頃から質問に対して記述で的確に答える力を伸ばす必要がある。

|